世界俳句フェスティバル・ペーチ2010報告

夏石番矢

ハンガリーでは、赤ん坊の三人に一人に蒙古斑が出現するという。どこか名状しがたい部分が日本につながっているハンガリーで、世界俳句フェスティバル・ペーチ二〇一〇が成功し、俳句がヨーロッパで着実に根付き、開花しているのを、暖かく穏やかな気持ちで実感できた。

今年、集中的に文化行事が開かれる欧州文化首都の一つが、ハンガリー南部のペーチ。古くから東西文化が交差し、古代ローマ遺跡も中心部に残り、現在はキリスト教会がイスラム教のモスク跡を利用している、美しく洗練されたこの都市で、八月六日から八日まで、世界俳句フェスティバル・ペーチ二〇一〇が、ハンガリー日本友好協会主催、世界俳句協会支援で実行された。

夏石の句集『鳥　五〇俳句』（バラッシ・キアドー社、ブダペスト、二〇〇七年）は、すべて種類の異なる鳥を詠んだ夏石の五十句を、日本語（作者自身の揮毫）、英語、ハンガリー語で収録し、ハンガリーの女性画家エーヴァ・パーパイの水彩画が、それぞれの句に付けられている。この出版も、今回の俳句祭の機縁となっている。

主催団体会長、ブダペストのカーロリ大学で日本学を専攻するユディット・ヴィハール教授の、大家族の母親のような暖かいホストぶりが、今回の成功に大きく寄与した。

六日の夕方、メイン会場、ペーチ大学ゲストハウス、ホテル・フニョールのコンフェランス・ルームでの、ヴィハール教授の挨拶から開会する。すぐに、同会場の壁面に展示されている、イタリアのトニ・ピッチーニの俳句「いかなる空も／鴎の／飛行を制限できない」などと写真による俳画展、ヴィハール教授の教え子たちによる工夫を凝らした隣室の俳句展を参加者全員で楽しく鑑賞。夕食後、ペーチ旧市街の店先のショーウインドーに飾られた各参加者の俳句パネルを、まるで宝探しのように探索。その際、初対面の面々も互いにうちとけ、若い参加者の俳句に新鮮さを発見できた。

どの天国の下でも／ふたしかな蝸牛に／神々はなる
アメリア・スタネスク（ルーマニア）

樫の深い吐息のもと／風の恐怖に／栗鼠はふるえる
ロランド・ホローシ（ハンガリー）

レモンの輪切り／空に、私のティーカップ／闇をすする
ハイナルカ・シャーンタ（ハンガリー）

今回の世界俳句祭のしゃれたポスターには、夏石の最近作「無意識のとぐろから霧立ちのぼり石が降る」（夏石番矢『ハイブリッド天国』、サイバーウイット・ネット社、アラハバード、インド、二〇一〇年収録）が日本語、英語、ハンガリー語で印刷され、歩道や窓などに飾られた。

翌七日は、俳句朗読が午前と午後の二回、十か国三十五人の参加者全員によって行われ、ヴィハール教授労作の多言語

版『世界俳句フェスティバル・ペーチ二〇一〇』アンソロジーが、フルに活用された。

鳥を入れ夕日を入れる雲は無敵　　鎌倉佐弓（日本）
惑星を遥か望めばわれは羊歯　　木村聡雄（日本）
尼僧院の庭に／春の朝／双子のペンギン
スチェパン・ロジッチ（クロアチア）
出発直前／彼の肌の匂いを／深く吸いこむ
ダニエル・デュテイユ（フランス）
修道女の拳に／レモン一個／日食
ペータル・チューホフ（ブルガリア）
湖の夕日／輝く感嘆符／あなたの一日終わる
ユディット・ヴィハール（ハンガリー）
次世代の／ダライ・ラマ／浜辺で暮す
ロブ・フリプス（オランダ）

それぞれの作者の飾り気ない俳句朗読も、かえって味わい深いが、ハンガリーのペーテル・ネーメス・ミコラらによる、白衣や蝋燭を活用した、宗教儀礼を思わせるパフォーマンス系の俳句朗読も印象深い。

同日の午後、夏石による英語講演「創造的なリンクとしての俳句」は、世界俳句協会刊行の『世界俳句二〇〇五　第1号』から『世界俳句二〇一〇　第6号』まで六冊収録の、各国俳句の優秀作に共通してみられる、自然と人間、ことばとことばの間などの新しいリンクを指摘。日本、アジア、米国、ヨーロッパ、オセアニアのみならず、アフリカ俳句まで言及した。

講演に引き続き、『鳥　五〇俳句』収録俳句を、この本のハンガリー語訳を担当したヴィハール教授と夏石で朗読した。

夜は旧市街のレストラン・ベラジアでのセレモニー。伊藤哲雄駐ハンガリー日本大使がハンガリー語で挨拶。夏石は、『鳥　五〇俳句』収録の「こうのとり法王の冠へ藁運ぶ」などを日本語とハンガリー語で揮毫した色紙を、主催者に贈呈した。日本とクロアチアの音楽も演奏された。

最終日八日の吟行俳句コンテストでは、最遠のニュージーランドから参加のドック・ドラムヘラーの俳句「蛙の像／池に飛び込まず／沈黙の音」が、第一位を獲得した。彼は帰国後の九月に、住んでいるクライストチャーチで大地震に遭うが、彼自身と自宅は奇跡的に無事だった。

この世界俳句祭についての記事が、ブルガリア、日本、ハンガリーで新聞に掲載され、世界俳句協会のホームページから読めるようになっている。